


学校教育目標 自ら輝け 夢をつかめ ～笑顔・感動 はつらつ植水～	学校だより 瑞穂 	令和4年度12月号 令和4年12月1日 さいたま市立植水中学校
--	--	---------------------------------------

学習を振り返ろう。

校長 山口 聡



朝の冷え込みが日に日に厳しくなり、生徒の姿も手袋やマフラーなどの防寒着が見られるようになり、本格的に冬がやってきたことを登校の姿からも感じられます。また、今日から1・2年生は期末テストが始まりました。2学期に身に付けた学習内容を確認する機会です。

ので、精一杯取り組んで欲しいと思います。

学校の周辺を見回すと、田んぼがトラクターなどですっかり耕されています。毎年見ている景色ですが、この時期に田んぼを耕す作業がどんな意味を持っているのかと疑問に思い、調べてみました。「稲刈り後の切り株をそのままにすると、切り株が残ってしまい次の田植えに支障が出てしまう。そのために稲刈り後、早い時期に稲わらと一緒に切り株を耕し、すき込みを行う。そのことで稲わらや切り株の分解が進み、春までの土づくりができる。」とありました。ちなみに『すき込み』とは田畑を耕すときに、たい肥や植物などを一緒に土に混ぜ入れることです。稲刈りを終えた田んぼを耕すことは良い土づくりをするために大切な作業だそうです。

学校では定期テストや実力テストなどの試験が行われます。テストの得点は稲の収穫、間違いを残された切り株と考えれば、テスト後の間違いを見直し復習することは、稲刈りの後のすき込みと同じ、次の学習のために大切な作業です。

12月は2学期の学習の収穫の時期です。また、3年生にとっては3年間の学習の収穫の時期ではないでしょうか。授業で自分が身に付けたものをしっかり復習し、有意義な冬休みを迎えて欲しいと思います。